

第14回公共施設等総合管理計画 策定推進本部	日時	平成29年10月10日(火) 9:32~9:41	場所	庁議室
出席者 (15人)	本部長：西岡市長 副本部長：上原副市長、小泉副市長、山本教育長 天野企画財政部長、中谷総務部長、藤本市民部長、柿崎環境部長、佐久間福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、東山都市整備部長、北村まちづくり担当部長、川合学校教育部長、西田生涯学習部長、加藤議会事務局長			
欠席者 (0人)	なし			
事務局	企画政策課 今井企画調整担当課長、渡邊主査、岡崎主任			
議題	1 公共施設の安全点検について 2 その他			
資料	安全点検チェックシート(案)			

(進行：天野企画財政部長)

【議題1】公共施設の安全点検について

(本件については、事務局が説明を行った。)

- 資料は、公共施設等総合管理計画の「点検・診断等の実施方針」の中にもあるとおり、点検・診断等はすべてのマネジメントサイクルの出発点であり、点検結果の記録化と共有を促進することにより適切な維持管理と更新の実現につながるものと考えている。については、全施設を対象に安全を確保する視点での点検を各施設所管課で取り組むところから、意識の浸透を図ることとするものである。

事前に各委員に対し案を示し、意見をいただいたところ、「職員で対応できる内容となっているのか」という質問をいただいたが、建築営繕課と相談しながら作成したもので、職員で対応が可能と見込んでいる。

また、「エレベータ、自動ドア、プールといった項目を設けてみてはどうか」という意見もいただいたが、当該設備はどの施設にも共通するものではなく、エレベータ、自動ドアについては法定点検が課されていること、プールについては国土交通省からプール安全標準指針が示されていることから、現状においても定期的な点検・報告は行われており、職員による点検項目から除いている。

今後の組織体制にもよるが、年1回は統括部門にチェックシートを提出いただき、予算編成過程におけるヒアリングの材料とすることや、施設ごとの維持保全に係る整理に役立てることなどについて検討していきたい。

なお、今後、財政課と協議するが、次年度当初予算編成方針において、施設関係の予算要求時に併せて提出していただくことも検討したい。

【関連質疑】

- このチェックシートは、平成29年第3回定例会における市議会からの要請に応えるものとなり得るのか。
 - 備品は含んでいない。施設の老朽化に係る診断を各施設所管課でチェックしていただくものである。
- 例えば、801会議室の床も対象となるか。
 - 対象となる。安全の観点から「歩行に支障ないか」という点検項目を設けている。ストックマネジメントの観点から先進市ではセルフチェックシートが導入されており、本市でも導入するものである。
- 今後どのように活用するのか。
 - 財政課と調整中であるが、平成30年度の予算編成の際に本チェックシートを提出していただき、予算編成過程の参考としたい。次年度以降に関しては、組織体制によるところもあるが、最低でも年1回提出いただき、活用を図っていきたい。これまでも、企画部門、財政部門、財産管理部門、建築営繕部門の各分野で調整をしていたところであり、強化するものである。
- 法定点検は対象外と説明があったが、法定点検の結果は、附属資料として提出する必要があるか。
 - 財政課と調整したい。他自治体では、マニュアルを整備し、法定点検も加えて冊子化している自治体もある。建築営繕部門では特殊建築物の点検結果を保有している。今後はそういった情報も一元化していく必要があり、組織改正にも関係する課題と認識している。
- 遊具等は、対象とならないのか。
 - 個別に点検を行っており、対象外である。
- 点検者によって基準が異なることが考えられる。統一的な基準等を設けられないか。
 - 統一的な基準の設定は難しい。記入例等を添えることで替えたい。現状、ファシリティマネジメントの推進組織となっていないことから、できることから着手したいと考えている。不手際等もあるかもしれないが協力願いたい。また、予算編成への活用にあたっては、現場を見に行くこともあると思うので、協力願いたい。

— 以上で、会議終了 —